

資料の収集・保管

- ・ 県域を俯瞰した博物館資料の収集・保管
- ・ 適正な環境での資料の保存・管理
資料の素材別、適正温湿度による管理

調査・研究

- ・ 専門分野をこえた共同研究の充実
- ・ 専門職員のスキルアップと後継職員の育成
- ・ 研究成果の県民への公開

展示

- ・ 拠点施設における県民ニーズに即応した展示の実施
- ・ 歴史系展示の強化
- ・ 市町村立博物館活動への支援

教育普及

- ・ 県民の学びに対する複数分野に係るレファレンス・学習相談
への速やかな対応
- ・ MLA連携(博物館・図書館・文書館)の推進
- ・ 学校教育に資する多様な学習プログラムの開発

〈留意点〉

・ 収蔵資料の一元管理

メリット: 収蔵スペースの有効活用、設備管理費の節減

デメリット: 一括管理することで、一度に資料する破損・劣化の危険性も高まる。

・ 文化財害虫被害防止策の構築

IPM(Integrated Pest Management)「総合的有害生物管理」

出来るだけ化学薬剤を使用せず人的な管理により、被害を最小限にとどめようとする文化財害虫の管理システム

〈留意点〉

・ 専門職員の集約と調査研究の強化

・ 市民参画の調査研究体制の構築

・ 調査・研究成果の電子化と公開、デジタルアーカイブスの充実

〈留意点〉

・ 可変性が高く柔軟性のある展示施設への改修

・ 中央博物館の歴史系展示の強化

・ 文化財を含めた博物館資料の更なる活用

〈留意点〉

・ 博物館の人的・物的資産の可視化

・ 他の社会教育施設等との連携体制の構築

・ 教員向けの博物館情報の更なる発信